

# 平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	11	担当部課名称	文化生涯学習部男女共同参画課
事務事業名	男女共同参画推進センター管理運営		
見直しのタイトル	自動販売機の設置（市有財産を活用した新たな歳入の確保）		
添付資料 有無	無		

## 1 現状における課題

- ・本市において自動販売機を設置する際には、「茅ヶ崎市行政財産の用途又は目的外使用にかかる使用料条例第3条第1項第1号及び使用料・貸付料の算定基準」に基づき行政財産の使用許可方式により行われてきたが、土地・建物の評価額を元に金額を算出する本方式により、用地管財課が茅ヶ崎トラストビル1階に設置している自動販売機の例では、使用料が年4千円弱にとどまり、導入に係る事務処理コストと見合わないものとなっている。
- ・施設利用者から自動販売機の設置要望をいただいている。
- ・職員が勤務時間中に冷たい（温かい）飲み物を購入することができない。

## 2 業務改善の趣旨及び具体的内容

### 【趣旨】

行政財産の貸付方式により業者選定（自動販売機の売上金額に乗じる貸付料率による）を実施し、より多くの歳入確保を図る。

### 【具体的内容】

次の工程を踏まえ、今年度の設置を目指す。

- ・市内外の先行事例を調査する。
- ・設置にあたっての課題及び検討事項の洗い出しを行う。
- ・ビル管理会社・信託会社との協議・調整を実施する。
- ・自動販売機設置事業者の募集、業者選定及び設置を行う。
- ・施設利用者へ周知を図り、積極的な利用を促す。

## 3 改善により期待できる効果

### 【全体】

- ・新たな財源の確保

### 【施設利用者】

- ・利用者の熱中症予防
- ・災害時における飲料水の確保
- ・利用者の満足度の向上

### 【職員】

- ・職員の福利厚生の上昇

#### 4 実施スケジュール（概要）

6月～8月 市内外の先行事例の調査及び設置にあたっての課題及び検討事項の洗い出し  
ビル管理会社・信託会社との協議・調整  
8月～10月 自動販売機設置事業者の募集・業者選定・設置  
10月～11月 次年度予算への反映

#### 5 実施結果の振り返り

・自動販売機の売上金額に乗じる貸付料率での入札を検討していたが、業者へのヒアリングを実施したところ、貸付面積に対する入札として実施したほうが有利であるとの提案があったことから、後者を採用することとした。入札の結果、平成31年3月1日から平成34年2月28日までの貸付期間で、総額896,472円を得られることとなり、新たな一般財源の確保に貢献できた。今後は、契約期間内の売り上げの推移を注視し、次回入札時における入札方式の決定の際の参考としたい。